

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年11月

応募者名：愛知県田原市

事業の名称：東三河都市計画道路3・4・60号

田原駅前通り線整備事業

実施都市名：愛知県田原市

事業目的

都市計画道路田原駅前通り線は、市民生活の利便性の向上や産業の活性化を目標に、臨海部方面から中心市街地を経て国道259号を結ぶ道路として、昭和40年3月に都市計画決定しました。沿道は街路樹や街路灯のデザインをゾーンごとに統一するなど景観に配慮し、田原市シンボルロードの役割を担っています。当該地域における本路線の整備は、平成16年の市街地再開発事業の完了に伴い、三河田原駅西側の約332mの区間のみが未整備となっていました。三河田原駅は渥美半島の最西端の駅であり、半島の重要な交通結節点であるにもかかわらず、周辺道路の幅員が狭く、朝夕のラッシュ時には車両、歩行者が輻輳している状態でした。今回、本路線と併せて都市計画道路田原駅南線（駅前広場）の整備を実施することで、道路交通の円滑化と安全確保、交通結節点の機能向上を図ることにより、中心市街地の活性化にも寄与するものである。

事業概要

事業名称：東三河都市計画道路3・4・60号田原駅前通り線整備事業

路線名：市道田原駅前通り線

事業箇所：愛知県田原市田原町地内

事業延長：332m

幅員：20.0m

事業費：2,463百万円

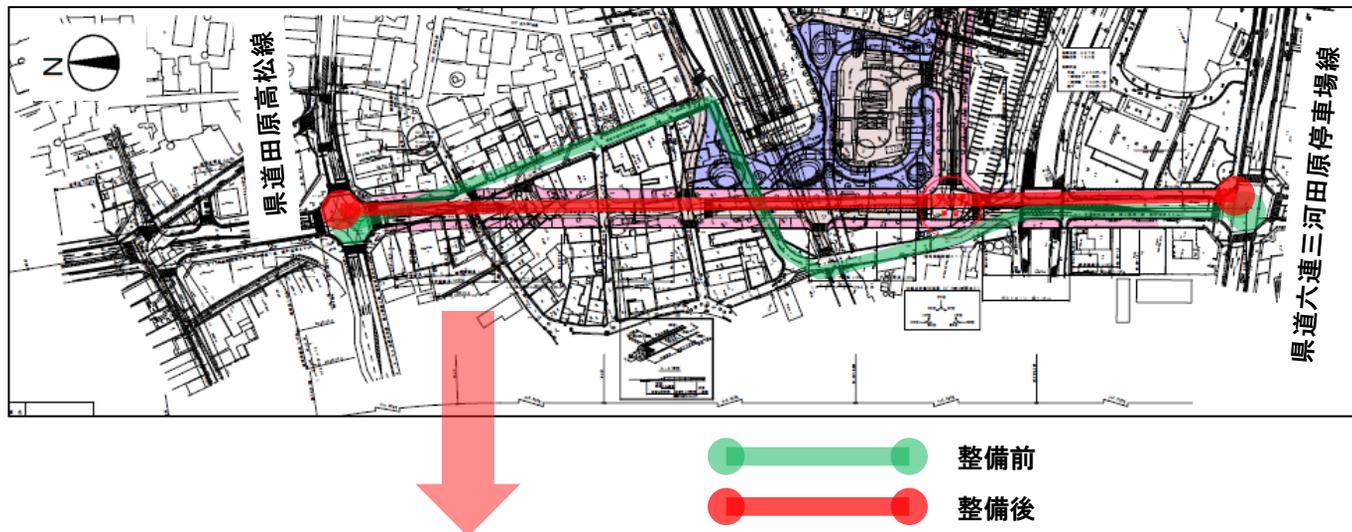
事業実施期間：平成17年～平成26年

（都）田原駅前通り線は、田原市の中心市街地を南北に縦断する幹線道路として計画されています。

このうち、三河田原駅周辺の区間については、幅員が狭く、歩道の整備もされていないことから、危険性が指摘されており、早期の整備が望まれていました。

今回、三河田原駅を中心とした332mの未整備区間を幅員20mの幹線道路として整備し、同時に電線共同溝方式による無電柱化を実施して景観性向上と、防災機能強化を図りました。

(都) 田原駅前通り線の整備効果アピール資料



通過時間短縮計算(県道田原高松線～県道六連三河田原停車場線)

項目	整備前	整備後
距離	515m	440m
時間	0:01:40	0:00:45
速度	18.5km/h	35.0km/h

○事業概要

事業名：東三河都市計画道路3・4・60号田原駅前通り線整備事業

路線名：市道田原駅前通り線

事業箇所：愛知県田原市田原町地内

事業延長：332m

幅員：20m

総事業費：2,463百万円

事業期間：平成17年～平成26年

「整備効果」

- ・三河田原駅へのアクセス性向上
- ・道路交通の円滑化と安全確保
- ・駅の交通結節点機能の強化
- ・三河田原駅周辺の景観整備による魅力向上
- ・災害時の安全性向上

事業前写真

平成15年12月撮影



平成19年9月撮影

←①[起点部]

福祉センター西交差点 → 三河田原駅方向



平成19年9月撮影

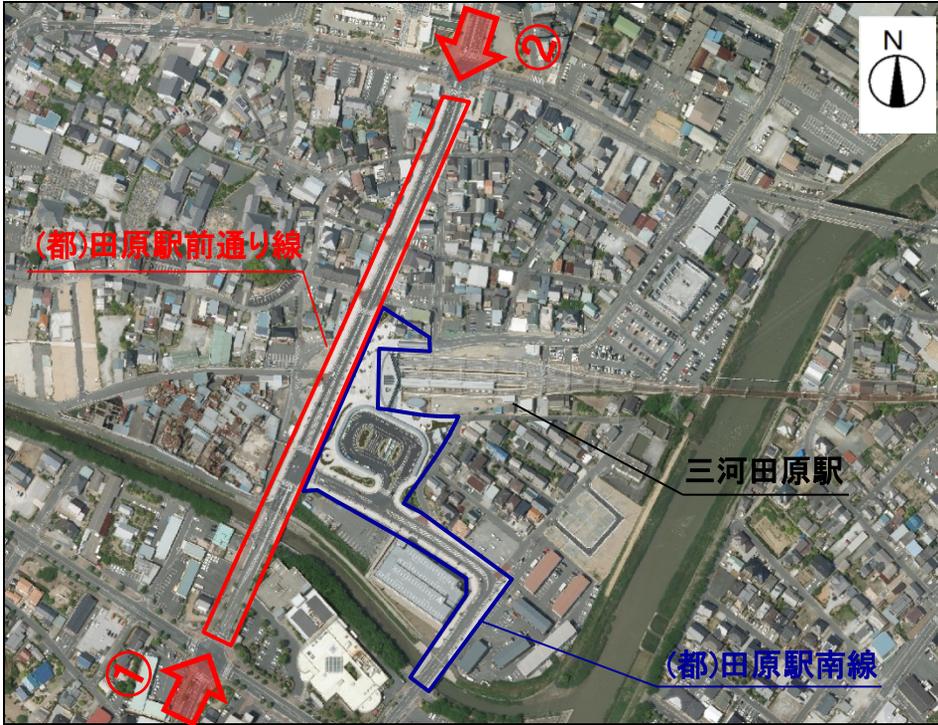
←②[終点部]

田原萱町交差点 → 三河田原駅方向



事業後写真

平成26年12月撮影



平成27年11月撮影

←①[起点部]

福祉センター西交差点 → 三河田原駅方向



平成25年10月撮影

開通式の様子



平成27年11月撮影

←②[終点部]

田原萱町交差点 → 三河田原駅方向



平成26年12月撮影

新しい駅前広場の様子



路線全体の進捗状況

